

# 学校評価アンケートのご報告

2月27日に学校関係者評価委員会を行いました。



## 学習について

テストの平均（国語・算数）の目標は？

前期は、1年	90点	2年生以上は、	80点
後期は、1年	100点	2年生以上は、	90点

学校全体で前期に比べて

国語	88.7点	(2.4点アップ)
算数	85.3点	(1.4点アップ)



## 書く力について

自分の考えを書くときには、うまく伝わるよう根拠をもとに工夫して書いていますか？

前期	児童	91.4%	教職員	12.5%
後期	児童	94.7%	教職員	71.4%

子どもは自分では書く力があると思っていましたが、まだまだ書く力は弱いと教師は感じていました。そのために次のような指導を繰り返し行ってきました。

- ① どのように書くか、書き方を子どもと確認
- ② 算数の基本的な図はノートにきちんと全員がかけるように指導
- ③ 「考えとその理由を短く書く」ことをどの学年でも指導



## 話す力について

自分の考えを話すときには、うまく伝わるよう根拠をもとに工夫して話していますか？

前期	児童	90.3%	教職員	37.5%
後期	児童	90.9%	教職員	85.7%

子どもの数値は前期と比べてあまり変わっていませんが、話す内容は変わってきていると教師は感じています。「書くこと」の力が付いてくると、自分の考えを筋道たてて話すことができるようになってきます。今後も学年に応じて、書く力と、話す力の両方の表現力を鍛えていきます。また、話す機会を多く取り入れ、話すことに慣れることも大事だと考えています。





## 基礎学力の定着について

漢字や計算など、絶対に身につけておかななくてはならない力はどんなこと？

漢字は、学期末には50問テストを行い、必ず100点がとれるように練習しています。合格するまでテストをして、その学年の漢字が身につくようにしています。

計算は、どのくらいの速さでできればよいか、学年の基準を決めました。繰り返しやっついていかないと忘れてしまうので、漢字や計算の練習は宿題でも出していますので今後とも、おうちでのご協力をお願いいたします



学年	必ず達成させる取り組み
1年	くり上がりなしの足し算カード 1分30秒以内
	くり下がりなしの引き算カード 2分以内
	くり上がりの足し算カード 2分以内
	くり下がりの引き算カード 2分30秒以内
	くり上がりくり下がりの混じった計算カード5分以内
2年	上がり九九（一つの段に10秒）
	上がり九九 60秒以内
	下がり九九（一つの段に10秒）
	バラ九九を（各段10秒以内）
	（3位数）+（2位数）の筆算（10問を5分以内でできる。）
3年	あまりのあるわり算の10問プリントが2分以内でできる。
	2けた×2けたのかけ算の9問+3けた×2けた1問プリントが2分以内でできる。
4年	小数のかけ算5問と小数のわり算10問（条件付わり算 4問）を合わせて10分でできる。
5年	小数÷小数（割り切れる 四捨五入 10分の1の位まで）7問を10分でできる。
	分数+分数5問を5分でできる。
	分数-分数5問を5分でできる。
6年	分数のかけ算10問10分でできる。
	分数のわり算10問10分でできる。
	乗除、分数、小数の混じった計算10問を10分でできる。

## 保護者アンケート



### 肯定的回答の数値が高かった項目

- ・家庭ではお子さんのよいところを褒めるようにしている 96%
- ・家庭では子どもの安全確保（自転車の乗り方、帰宅時間等）を心掛けている 95%
- ・運動会や授業参観では子どもが一生懸命取り組んでいた 97%
- ・家庭では家庭学習が習慣化するように励ましや声かけをしている 89%
- ・学校は子どものことで相談連絡したことについて適切に対応している 87%

### 肯定的回答の数値が低かった項目

- ・お子さんの就寝時刻（10時以降） 38%
- ・自分で内容や時間、始める時間など計画を立てて家庭学習している 64%
- ・自転車に乗るときヘルメットを着用している 72%

## 保護者の方々からのご意見



### あいさつ

- ・挨拶の声が大きくなり、近所の人にも進んであいさつするようになりました。

### 生活

- ・自分の命を守るため自転車に乗るときはヘルメットをかぶることはよかった。
- ・毎朝決まった時間に起きて同じ時間に出るなど、就寝までの生活習慣が身についたと思います。持ち物確認も自分でできるようになりました。
- ・高学年になり、下校時刻も遅くなったが手伝い、習い事など毎日よく頑張っている。毎日家族のために布団を敷いてくれています。

### 学習

- ・かけ算を楽しそうにしているのでよかったと思います。
- ・1, 2年の頃に比べて、学校へ行きたくないと言うことがなくなりました。おのこりなども個々に合わせて対応してくださり有り難いです。
- ・本人が家庭学習で頑張ったり得意としているところを先生が見てくださって、もっと上を目指したいと自分で目標を立てるようになりました。
- ・先生の楽しい話を家でしてくれる。勉強になる話もしてくれるので親も勉強になる。

### その他

- ・プリントやテストなど間違ったところを消してしまうとどのように間違えたのかが把握しづらいのでできれば消さずに違うところに書いてもらえるとありがたいです。
- ・子どももたまには学校に不満があるように感じます。
- ・ゲームのやり過ぎ、宿題は必ずしていくが、時間がかかりすぎ、集中できるようにがんばってほしい。

## 学校関係者評価委員会のご意見

- ・地域や各種団体と連携の会を行い情報交換しながら子ども達を育てていきたい。
- ・学力向上において、管理職や教務主任が、教室へ入って指導しているのがよい。
- ・本好きの子どもを育ててほしい。広く図書ボランティアを募ってはどうか。
- ・月津の子どもは、おとなしい。考えて話す、自分の思いを伝えることができるように育ててほしい。学校の方向性はまちがっていないと思う。
- ・ヘルメットの着用は、職員と保護者が連携して指導にあたってほしい。

アンケート等のご協力本当にありがとうございました。紙面の関係上ここに記載した結果は一部ですが、学校関係者評価委員会では、児童・教員・保護者すべてのアンケートの結果をご覧いただいています。その上でご助言、ご指導をいただきました。今年度は、絵本ルーム・英語ルームの設置、パソコンルームの整備など学習環境に関しても改善を図ってきました。

子どもが安心して学習できるよう改善していくためには、アンケートの機会だけでなく、何かありましたら学校へご連絡いただければと思います。どうぞ今後ともよろしくお願いたします。